



甲府市人権啓発講演会と 神奈川県人権啓発パネル展について

11月29日甲府市総合市民会館芸術ホールにて、約300人の観客のもと、平成24年度甲府市人権啓発講演会を開催しました。林正孝甲府市副市長のあいさつ、杉藤旬亮国連NGO横浜国際人権センター会長のお話の後、「新ちゃんのお笑い人権高座」～笑顔でくらす、願いに生きる～と題した露の新治師匠の口演が行われました。

口演は、笑いに包まれた90分でした。

「今のあなたがいるのは、両親がいたから、その上には4人のおじいちゃん、おばあちゃんがいた。さらにその上には8人のひいじいちゃん、ひいばあちゃん。そして、33代さかのぼると85億人以上の命が必要なのです。奈良、平安時代の日本は200万から300万の人口だったと言われています。ということは、何人の命の重複がないと今のあなたはいないのです。この会場の端と端にいる方は、おなじ血が繋がっているのです。

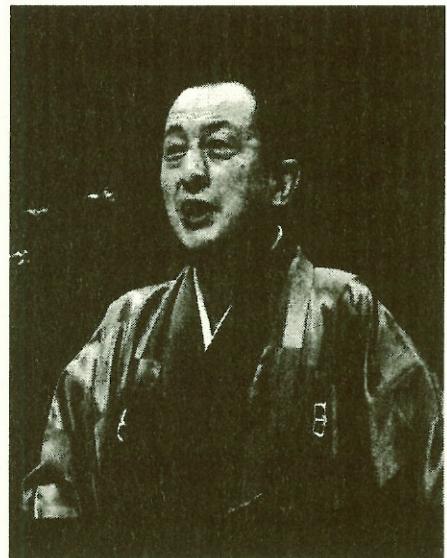
つまり血筋の差別なんてもう理由は無いのです。

偶然に生まれた命、延べ85億人以上の命の繋がりで与えられた命は大切にしましょうよ。

そして、偶然ではありますが願われて生まれた命です。笑いながら楽しく生きましょう。

差別は無意味。そして、差別に対しては、「それが何だと言うんだ」と切り返してしまいましょう。」

さすがに漸家です。このような内容を面白おかしく笑いの中で話されました。



12月5日、そごう横浜店で開催した神奈川県人権啓発パネル展に国連NGO横浜国際人権センターも参加し「命と人権を守る為の人権メッセージ展」と題して啓発活動をしました。

タレントからのメッセージや若くして自ら命を絶ってしまった方の手紙などを展示させて頂きました。

いじめの虚しさ、差別の無意味さを痛切に感じ、伝えることができたと思います。

パネル展を見に来ていた方々と色々な話をすることができました。その中で何人かの高齢者とお話しをしました。多くの高齢者が、「いま独り暮らしで、とても寂しいですよ。こういう機会に出てきて、人と話をするのが楽しみです。お金も無くぎりぎりの生活ですよ。若い人に話を聞いて頂きたいですね。」と話されていました。

今の日本は、高齢者の方々の頑張りで繁栄しているのです。このような高齢者にも楽しく明るく過ごせるような社会にしなければなりません。

改めて人権活動の大切さを感じました。

「差別を無くし、明るく住み良い社会の構築」のため山梨ブランチは様々な活動を行っています。お近くでイベントがありましたら、お気楽にお寄り下さい。

〒400-0831 甲府市上町601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房1階事務室

国連NGO横浜国際人権センター・山梨ブランチ

（代表・横山 隆史（全日本同和会山梨県連合会・会長））（Tel・055-243-8563）